

にのへ 市議会だより

No. 14

平成 22 年 2 月 16 日 発行
 発行 二 戸 市 議 会
 編 集 二 戸 市 議 会 だ よ り
 編 集 委 員 会
 印 刷 福 岡 プ リ ン ト 社

市議会のホームページアドレス
 市議会のメールアドレス

<http://www.city.ninohe.iwate.jp/gikai/html/index2.html>
gikai@city.ninohe.iwate.jp



主な内容

12 月 定 例 会 の 概 要	2 ~ 3
討 論	4 ~ 5
一 般 質 問	6 ~ 13
請 願 と 陳 情 ・ 議 員 発 議 他	14

= 二戸市政をバトンタッチ！ =

1 月 26 日、小原市長から新たに市長就任が決まった小保内敏幸氏（写真右）に二戸市政についての引継ぎが行われました。

（新市長就任 1 月 29 日）

12 月 15 日
 本会議
 （常任委員会報告に対する質疑、討論、採決）

12 月 10 日、11 日
 常任委員会
 （付託案件の審査）

12 月 9 日
 本会議
 （議案審議）

12 月 7 日、8 日
 一般質問（8 名）

12 月 3 日
 本会議
 （会期決定、議案上程、閉会中の委員会活動報告）

12 月 定例会

審議
 日程

12月定例会

一般会計予算は7235万5千円を増額

168億3897万1千円に

上斗米中学校統合を可決（平成22年4月）

平成21年第4回定例会は、12月3日に招集され、会期を12月15日までと決めた後、条例案件4件、議決案件3件（追加提案1件）、補正予算案6件、推薦案件1件が提案され、審議の結果、全議案とも原案どおり可決されました。



（株）南部美人との工場立地協定調印式（2月1日）
拠点工業団地への工場建設が決まりました。

主な審議内容

紙面の都合により、質疑の内容は主なものについて掲載していません。詳しい内容は、市役所情報公開コーナー、市立図書館・浄法寺カシオペアセンターに会議録を備えてありますのでご利用ください。

議案第1号 二戸市生活排水処理施設条例の一部を改正する条例
使用料の改定を行うという内容であるが、この条例が適用になる地域はどこになるのか。旧浄法寺町の合併処理浄化槽において、個人で補助金をもたらして設置した例があると思うが、それについては、この条例は当てはまるのか。また、汚泥処理については、個人負担となるのか。

建設整備部長
適用地域は、浄法寺全域

おり市で維持管理、汚泥処理を行います。

議案第2号 二戸市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例

問 受益者負担金の算定について、旧二戸市は末端管渠の整備費の4分の1を根拠としているが、浄法寺地区を8分の1にする理由を伺う。

また、公平ではない負担に対する考え方を伺う。

建設整備部長

浄法寺地区の場合は、整備費用にかかる財源として、2分の1の補助金が入っており、その残り半分に4分の1を掛けて8分の1の負担にしたものです。

市長
浄法寺地域としては、合併処理浄化槽を町の政策に進めてきた経緯やそれにかつてきた経費等さまざまな視点から考えてこの手法を提案したものです。

議案第3号 二戸市立小中学校設置条例の一部を改正する条例

問 平成22年4月に上斗米中学校が福岡中学校と統合することになることだが、現在のの上斗米中学校の2年生6人（新3年生）は、御返地中学校への通学を希望している。受け入れる御返地中学校でのクラブ活動等について色々と心配な点があると思うが教育委員会はどうか考えているのか。

また、統合する場合に、入学生を停止して在校生が卒業するまで学校を存続させる手法もあると思うが、その手法はとれなかったのか伺う。

また、統合する場合に、在校生が卒業するまで存続させる方法もありませんが、少人数の中で学校教育

教育次長

これまでも上斗米中と御返地中は、野球大会に合同チームで参加したりしており、交流がありました。今後については、両方の中学校に状況をお話ししておりますので、体制等のことも両校で相談して頂きたいと思えます。

教育長

在校生が卒業するまで存続させる方法もありませんが、少人数の中で学校教育

の様々な機能が果たせるかという問題があります。また、PTAの方々からどうしても統合しなければならぬのであれば、早めに統合してくれないかという要望もあり、今回の結論に達しました。



上斗米中学校統合協定調印式
（1月21日）

議案第4号 二戸市給水条例の一部を改正する条例

問 水道の加入金制度を創設しようとするものであるが、今まで二戸市が導入しなかった理由を伺う。

また、今後の水道料金体系の見直しの考えについて伺う。

水道事業所長
当市は、給水開始が非常

議案番号	提出案	結果
議案第1号	二戸市生活排水処理施設条例の一部を改正する条例	賛成多数
議案第2号	二戸市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数
議案第3号	二戸市立小中学校設置条例の一部を改正する条例	賛成多数
議案第4号	二戸市給水条例の一部を改正する条例	賛成多数
議案第5号	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議について	全員賛成
議案第6号	岩手県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議について	全員賛成
議案第7号	平成21年度二戸市一般会計補正予算（第10号）	全員賛成
議案第8号	平成21年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	全員賛成
議案第9号	平成21年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第6号）	賛成多数
議案第10号	平成21年度二戸市生活排水処理事業特別会計補正予算（第4号）	賛成多数
議案第11号	平成21年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第5号）	賛成多数
議案第12号	平成21年度二戸市水道事業会計補正予算（第7号）	全員賛成
議案第13号	二戸市立小中学校ICT環境整備業務の委託契約の締結について	賛成多数

となりませす。
個人が設置したものでも市に寄附してある施設であれば対象になります。
また、市で管理している浄化槽については、従来ど

に遅れた地域ですので、これまででは上水道の普及を伸ばすために、加入金制度は設けておりませんでしたが、財政見通しが非常に厳しい状況ですので、提案させて頂きました。
水道料金は、現在県内でもトップクラスの料金体系になっており、さらに値上げをすることは、市民全体に負担を強いることとなります。その為、加入金制度の創設や事業コストの削減を図った後で、料金の見直しを考えたと思います。

議案第7号 平成21年度二戸市一般会計補正予算（第10号）
問 農業委員会で発行している耕作証明書の利用目的の主なものは何か。耕作放棄地が多くなってきたり、それに伴い農地台帳の加除は行われて適確な証明になっているのか。
また、二戸市と青森県にまたがって農地がある場合に耕作証明書はどのように出すのか。

市民協働部長
二戸地区合同庁舎の1階において、現在、県で行っている消費生活相談室を引き継ぐ予定です。相談者のプライバシーは十分守られると思えます。

相談員については、3名以内で対応することになっております。

農業委員会事務局長

耕作証明書の主な利用目的は、軽油税の減免、農地の取得、農業資金の融資関係です。農地台帳の加除については、耕作放棄地現況調査等により台帳を整備しております。

また、市外の耕作地は、二戸市の台帳に記載されておりませので、二戸市分の発行になります。

問 消費生活センターが、平成22年4月に二戸地区合同庁舎に設置されるということだが、相談者のプライバシーが守られるような相談コーナーになるのか。
相談員の体制については、どのようなになるのか。

討論 (要旨)

私はこういう理由で
賛成・反対です!!

議案第2号 二戸市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例

反 対

田口 一男 議員
二戸処理区の公共下水道の受益者負担金は、平米当たり400円に対し、浄法寺処理区の受益者負担金は国の特定環境保全公共下水道事業を導入したことを配慮し、平米当たり100円にしたとあるが、浄法寺処理区には二戸処理区にはない公共マス1カ所当たり10万円の負担金を導入している。両処理区を比較すると、300平米では浄法寺13万円に対し二戸は12万円、200平米では浄法寺12万円に対し二戸は8万円、さらに100平米では浄法寺11万円に対し二戸は4万円

となることから不合理である。
浄法寺処理区では、密集地で土地の少ない所有者ほど受益者負担が増す仕組みであり、不公平感がぬぐえないことを申し上げる条例に反対する。

反 対

田口 一男 議員
県境産廃問題の市民集會での上中の皆さんの環境問題の研究と提言、駅伝ほか各種大会での活躍は挑戦することの素晴らしさを市民に教えてくれた。小規模校の利点を活かした1人1人の個性を大切に、地域の応援、保護者の協力、子ども達が意欲を持って成長、発達できる環境がある。地域のよりどころであり、子ども達の成長の場である中学校がなくなる今回の重大な問題の背景に教育委員会の場当たりの無責任な対応がある。
これから、1月に協定す

尋常でない短時間での閉校、統合、各学校の事務の引継ぎ、何よりも子ども達が環境の大きな変化を受けなければならぬ。地域の大きな痛みがある中、教育委員会は謝って終いではなからう。責任の明確な取り方を求める。

賛 成

鷹場美千雄 議員
内容的には賛成しにくいですが、統合しか選択の余地がない。現在の上下斗米中学校のあり方は、学校という名のものでなく、そういう意味で統合するという事には異論がない。
しかしながら、今回の学校統合のあり方は、子ども達の心と人生のページに傷を残している。本当に教育のあり方として正しかったのか反省を求められると思う。私もチェック機能を預かる議会人として、上下斗米中の生徒や地域の皆さんには申し訳ないと感じている。今後は、まだ時間があるので、統合のイベントの中で、教育委員会のほうで配慮し

何か楽しいイベントをできないかを検討して頂きたい。

賛 成

佐藤 純 議員
この問題については、所管の委員会であり、定例会・本会議・委員会で最終的には教育長が答弁したとおり性急的で、また、学区調整委員会の結論も出ていないままの決定で申し訳ないというものであったので、私はこういう状況を見るに、今後の御返地中学校、仁左平中学校の統合問題も避けて通れない課題がある。
現状認識と教育効果については、焦らずに地域住民と辛抱強く話し合いを進めて行かなければならない。いたずらに感情的な対立を出さないように慎重を期すべきだと思う。急がずにつきりと時間をかけて、さらに二戸市教育委員会の基本方針をきちんと示して頂きたいと思い、私の賛成討論とする。

議案第4号 二戸市給水条例の一部を改正する条例

反 対

畠中 泰子 議員
現在、市の計画給水人口に対する普及率は95・17%。普及拡大は、今後とも求められている所であり、これまで普及率拡大のため加入金制度を導入してこなかった。今回、収入増を図るために、13ミリメートルで4万4100円、20ミリメートルで7万円、不況が続く中、給水施設の新規設置者に加入金を求めるのは、新たに求められる市民にとっては不合理ではないか。
市の水道が高い給水原価のもと経営は厳しいのは、馬淵川からの取水という背景がある。公営企業法第3条は企業の経営性発揮と共に本来の目的である公共の福祉を増進するよう運営されなければならないとなっており、一般会計からの補填も含めた水道事業を守る財政的措置も検討すべきである。市民に負担を求める加入金導入は以上のこと

から反対する。

議案第9号 平成21年度二戸市下水道事業特別会計補正予算(第6号)

反 対

畠中 泰子 議員
特定環境保全公共下水道事業に日本共産党市議団は、懸念を表明してきた。今回の審議でも22年度以降下水道へ転換と同時に使わなくなる合併処理浄化槽は産業廃棄物となるが、今後、処理の仕方を検討するという答弁となり、課題の研究や対策が曖昧な中で事業が進められ、今回さらに枝線管渠を延ばす委託料が計上されている。課題を整理することこそが必要だ。特定環境下水道区域内の63基の合併処理浄化槽の処理や撤去費用に数千万円が想定され、どのような財政負担の下に行われるのかさえも明確になっていない。
議案第10号 平成21年度二戸市生活排水処理事業特別会計補正予算(第4号)

反 対

田口 一男 議員

浄法寺地区の市の管理、徴収の合併処理浄化槽は323基設置されている。現在使用している浄化槽は人槽別の固定料金制で世帯員数が少なくても固定料金で徴収し、構成人数の減少で実態に合わない理由で下水道料金に条例で統一したが、生活排水処理施設と公共下水道施設の維持管理形態は別なものであり、統一料金にすることこそ実態に合わないものだと思う。

将来、下水道施設の利用者は多くは望めない、むしろ減少傾向が予想される中で世帯構成人数の減少による維持管理費の上昇により料金改定が行われた場合、浄化槽利用者の生活排水処理事業にも負担を負わせることになる。このような内容を含んだ量水器工事請負予算に反対する。
議案第11号 平成21年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算(第5号)

反 対

鷹場美千雄 議員
区画整理は、今までも変

更を余儀なくされてきており、事業年度は延長され、進捗も思わしくなく、予算も膨大に食い込んで他会計にも影響している。
小原市政も来年1月で終わりを迎えるが、私は、担当課のほうで再度この問題を考え本場に二戸市のためになるか考えて頂きたい。
二戸市の財政の大きな負担となるのは、この土地区画整理事業と思われるので、後世につけを回さないよう、これからの市民が苦勞しないよう予算のシーリングをすることを願います。

賛 成

小野寺仁美 議員
平成4年4月、市長就任と同時に始まったと言える土地区画整理事業は、紆余曲折を経ながら今日に至っている。この間、地権者に対する説明会等で、特に荷渡地区においては、不倶戴天の敵対関係になった程である。

しかし今は小原市長でなければ成し得なかったと多くの地権者は口をそろえて



上空から見た二戸駅周辺地区

議案第13号 二戸市立中学校ICT環境整備業務の委託契約の締結について

反 対

畠中 泰子 議員
市内小中学校へのICT環境整備は、既に全会一致で可決されたものであり、整備に異論はないが、文部科学省の補助とともに国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用にもかかわらず、1億5215万円もの事業を市外業者に委託する重大な問題がある。
地域経済危機を打開するための基本的方針が欠落している。深刻な経済悪化の中、市内業者は歯を食いしばって頑張っている。交付金事業の趣旨からも、厳しい経済不況だからこそ、地域の仕事起こし、地元業者の育成、雇用創出、雇用の安定の波及効果が期待できる地元業者への発注とすべきである。

一般質問

一般質問は、8名の議員が当局の考えをただしました。

通告議員名	質問項目
小笠原清晃	① 市長の17年余の市政担当の感想について ② 政権交代による感想について ③ 上斗米中学校統合整理について
新畑鉄男	小原市政の総括と後期計画の展望について
田代博之	① 楽しく美しいまちづくり事業について ② 地域の道路環境整備について ③ 難視聴地域解消対策について
田口一男	市民の暮らしを支える市独自の取り組みについて
菅原恒雄	① 市民協働によるまちづくりの成果について ② 行財政改革の実施状況と成果について
及川正信	今後の二戸市について
鷹場美千雄	小原市政の総括と今後の行政課題
畠中泰子	① 市民のいのちと暮らし、雇用を守る対策について ② 教育・子ども対策について



小笠原清晃議員

市長の17年余の市政担当の感想について

今回の議会を最後に市長の職を退くことになるが、これまで、楽しく美しいまちづくり事業、宝を生かしたまちづくり事業、新幹線開通関連事業、シビックセンター建設、福岡小学校建設、行政のスリム化の実施による各施設の委託や指定管理者制度の導入実施等、市の幾多の事業や旧二戸市・浄法寺町との合併実現等多くの施策を実施、実現をしました。そこで、これまでのご苦労や17年余の思い出や思い描いたこと、やり遂げたこと、やり残したことなどの感想について、今後の市政運営のためにも後輩や市民のために遠慮の無いお話し頂きたい。

市長 私が市長に手を挙げた当時に思ったことは、市とし



多くの市民が参加した「宝めぐりツアー」

政権交代による感想について

通算60年余の自民党政権から民主党政権に変わり、どのような感想を持っているのか伺う。そして、最後に二戸市長として新政権に望むことがあれば聞かせて頂きたい。

市長 政権交代は、なるべくしてなったという思いが強いのですが、今までのやり方で進めていけばこの国は成り立っていかないのではないかと不安が、全国を覆った結果だと思えます。私としても政権交代に賛同しましたし、それが実現したことは大変良かったと思っております。

また、市として望むことは、経済的安定に早く取り組んで頂きたいこと、財源を伴った地方分権をきっちりつくって頂きたいということです。

上斗米中学校統合整理について

P T A の方々や地元では、中学校統合やむなしの決定をしたわけだが、通学

の問題(御返地中学校への)等今後の課題が残されたままである。学校側の事務関係の手当(予算、人員)や日程等どのように考えているか伺う。

小原市政の総括と後期計画の展望について



新畑鉄男議員

教育長 統合先については、P T A や地元の方々と福岡中学校と統合することで合意を得たわけですが、現在の2年生については、小規模校から大規模校へ行くという急減な環境変化により、受験等への影響が心配されるので、福岡中学校ではなく御返地中学校への就学を認めて欲しいという要望がP T A の方々からありました。教育委員会としてもP T A の方々と協議を重ね、希望者については御返地中学校への就学を認めることにしたものです。その場合の送迎については、車両による送迎に対応すると回答しております。

また、学校側の事務関係についても閉校に向けた準備が円滑に進むように事務補助員を配置する等対応してまいります。

また、新幹線の開業と合併が大きな出来事だったと

市長は勇退を表明して、早いもので任期も残すところあと2カ月足らずになりました。18年間大変ご苦勞様でした。心から感謝申し上げます。次の点について最後の質問をさせて頂きま

18年間を振り返ってみて今の心境を伺いたい。特に完成させておきたかった事業、いまひとつだった事業など、いろいろあると思うが答え願いたい。

これからの市政については、新しい市長のもとで進めて行くべきだと言っているが、新市総合計画やこれまでの事業などで、引き続き進めてほしい事業もたくさんあると思う。市長の考えを伺いたい。

私は、新幹線の開業と合併が大きな出来事だったと



19市町村交流事業として行われるトリコロールフェスタ in なにやと

思います。新幹線の開業は、市というよりも国策と併せた整備でしたが、これに便乗してさまざまな整備を行いました。区画整理もそうですし、新幹線幹線道路や「なにや」と等の施設整備を行い、沿岸から秋田、青森にかけて19市町村の交流が県北にとってプラスに働いていると思います。

合併については、私もカ

シオペア連邦が1つになるように働きかけをしました。結局2つだけで終わりました。しかし、小さな合併でしたが、この合併がなければ岩手県における二戸市の存在が本当にかすんで

しまったのではないかと思っております。そういう意味において、浄法寺の皆さんのご決断はありがたいと思っております。

また、浄法寺との合併協定や総合計画の中で、できなかった事業として1番大きいものは「道の駅」だと思います。議会でもこの点については指摘頂いておりますが、既存の産直との競合や滴生舎や他の漆器店とのかねあいから、慎重にならざるを得ない状況です。

浄法寺バイパスについては県事業ですが、用地の確保ができなかったことは本当に残念であり、申し訳なく思っておりますし、役場線も一向に進捗してこないのですが、何としても実現しなければならぬと思っております。

安比川流域については、給食センターがきたり、浄法寺小学校も工事が始まっているわけですが、山間部のほうでは、畜産・農業・林業の部分も大変大事にな

そういった視点で強いメッセージを発して取り組んで行かなければならないと思っております。

そして、願わくば浄法寺の町については、浄法寺の皆さんが自分たちの町をどのようにしていくかを考えるエネルギーを持って頂ければと思っております。

また、たばこ産業の関係についても気になっておりますが、健康面や税収のターゲットとして、たばこが翻弄されつつあります。先日議員さんとの連名で増税を考え直してほしいという要望書を国の各機関へ提出しました。

いずれ、健康のことを考えれば、これまでどおりたばこの栽培を持続していくことが可能かどうか不安がないわけではありませんが、ポスト葉たばこということになれば、農家の方々が安心して事業、品目転換できるように、道筋をきちんと立てる必要があるのではないかと考えております。



議員 田代博之

楽しく美しいまちづくり事業について

①平成4年に小原市長が就任し、これまで17年間余りの長い間続いてきた「まちづくり事業」について質問する。これまで、この事業が関わったイベントや考えを取り入れて行った事業、施設整備したものを伺う。②平成18年にできた「二戸市宝を生かしたまちづくり条例」での委員数、報酬等の内容と「楽しく美しいまちづくり推進委員会」の委員のこれまでの延べ人数、OB組織はあるのか伺う。③二戸駅で「二戸の宝」をもっと紹介して観光や街への流れに生かせないか。計画にあった施設はどのようなになっているか。④旧浄法寺町エリアでの事業の状況を伺う。



草原の風・星まつり (平成7年)

②この条例は、平成12年11月から施行され、合併

星まつり」、「ひめぼたる鑑賞会」、「全国巨木サミット」、「福田塾」、「三浦哲郎文学散歩」、「九戸城コンサート」等を行いました。施設整備では、シビックセンターを建設し、その中には「地域情報センター」、「福田繁雄デザイン館」、「田中館愛橋記念館」があります。また、折爪岳の整備では「もりの学び舎」、「自然公園センター」、物産関係では「なやーと物産センター」、宝を紹介するものとして案内板、説明板、誘導板等を設置しました。

後も引き継がれております。委員数は20名以内、報酬は委員会に出席した日に5000円を支給し、旅費も旅費規程により支給されております。楽しく美しいまちづくり推進委員会の委員の延べ人数は市民の委員が139人、職員が199人でした。OB組織としては、市民と職員で10名前後ですが、「Waの会」が活動しております。③二戸駅構内の利用状況については、男神岩・女神岩の大型パネルの展示、瀬戸内寂聴記念館PRパネル展、トリコロール写真展示、福田繁雄作品の展示等J.R二戸駅と協力しながら市の観光PRに努めております。また、シビックセンターや町なかへ誘導する案内板は二戸駅周辺観光案内板や駅からハイキングマップ、観光ガイドマップを活用して観光客へ情報提供しております。

地域の道路環境整備について

緊急車両の入って行けない狭い足元道路、雨水の流入、合併浄化槽の水を流せない箇所、老朽化した側溝などの早急な改善を図り安心安全な生活を目指すべく、と思うが市長の考えを伺う。

道路環境整備は、道路の部分改良や待避所の設置等ポイント的な改良に努めておりますが、ご指摘のとおり



議員 田口一男

市民の暮らしを支える市独自の取り組みについて

平成21年度の市長演述述べた優先課題の「産業の振興と雇用の確保」「安全・安心のための支援」が9カ月経過した年度途中でどれくらい実施され、評価でき

たどの考えなのか。また、商工業者や市民の悲鳴に近い生活難の声にこたえるため、気を抜かずに対策を講じるべきと思うが、任期満了までの取り組みの決意を伺う。

生保世帯が増加の一途をたどっているが、市の生活保護申請と受理件数等について伺う。

国民の要望は雇用対策だが、対策は名ばかりだ。緊急雇用創出事業後の継続が見受けられない中、これまでの二戸市の雇用と経過、さらに市の新卒予定者の就業内定の動向と具体的な雇用支援は行われたのか。就職困難による市独自の税の軽減措置の考えはあるのか。また、再就職も定まらない滞納者に市民税の申請減免は図られているのか。固定資産税は所得と無関係な徴収であり、不況で支払いが困難になっている。支援として税の減免を検討すべきではないか。

二戸管内全町村の中学校医療費無料が実施され、高校まで拡大の動きもある時

に二戸市は岩手県に準じた未だに就学前の医療費無料にとどまっている。管内町村に歩調を合わせ医療費無料化の拡大を図るべきではないか。

産業の振興と雇用の確保の主な事業としては、二戸市商工業連携戦略会議の設置、食産業活性化支援事業補助金の創設、地域雇用創出推進事業新パッケージ事業による人材育成、ふるさと雇用再生特別基金事業及び緊急雇用創出事業の活用による雇用の確保、創出拡大などに取り組みました。

安全・安心のための支援では、父子手当の支給事業、妊婦健康診査の公費負担14回への拡充、健康相談や転倒予防事業の実施などに取り組みました。

求職者の支援については不安を解消できるような一つの窓口で対応できるワンストップ相談を今月下旬に開催しますし、生活難については、民生児童委員さんにも地域の目配りをして頂いております。

市税の申請減免については、生活困窮による減免の相談をされた場合に聞き取り調査を行い、減免の対象になるかどうかを判断します。減免の対象にならない人は、納税相談等を行い生活実態を確認の上、担税力



高校生対象の合同会社説明会

を調査し、分納や執行停止等で対応しております。市独自の軽減策ということですが、現在、個々に対応した納税相談や休日窓口相談の開設、口座振替の促進など納税環境を整備し滞納者を減らす取り組みを行っているところでありまして、減免はなかなか難しいものがあると考えております。医療費の無料化については、現在就学前の子どもには行っていますが、これを中学生まで広げると新たに約4,700万円の財源確保が必要であり、なかなかできないのが実態です。

難視聴地域解消対策について

①平成22年度以降に見込まれる難視聴地域と世帯数、そのうち組織化されているのはどの程度か伺う。②平成22、23年度の難視聴地域解消の具体策を伺う。③事業仕分けのとおりに進んだ場合、二戸市が受ける影響と対策を伺う。

①平成22年度以降に難視聴と見込まれるのは、22地域、512世帯です。そのうち共同受信組合の組織化がされているのは、14地域、296世帯です。②市としては、共同受信組合の組織化を推進し、国の補助事業を導入して財源を確保したうえで、アナログ

緊急車両等が入っていない所も残されておりますので鋭意努力してまいります。道路環境整備は、多くの時間と経費を必要とすることから、地域の協力をお願いしながら事業推進、維持管理補修に努めていきたいと思



菅原 恒雄 議員

市民協働によるまちづくりの成果について

5期18年間の二戸市のまちづくりについて高く評価するとともに、敬意を表するものである。私は、今回で退任される小原二戸市長の合併後の1期4年間を振り返って質問させて頂く。

小原市長は、最重要施策として「市民協働によるまちづくり」を掲げ、新市初代市長として初当選し今日に至っている。新しいまちづくりを推進するために、「市民協働部」を新設し、市民との協働によるまちづくりに取り組んできた。そこで、伺いたいことは、「市民協働によるまちづくり」の成果について、具体的な内容をお聞きしたい。

市長

「市民協働によるまちづくり」については、平成19年度に地域づくり推進課を設置して、きちんとした窓口

口をつくりました。そのほかに公共的団体の関係者・学識経験者・市民公募者で組織する市民協働推進委員会を設けて、市民協働推進計画を21年度中に策定する予定です。

また、人的支援としては、地域担当職員制度を実施し、市のほぼ全職員を地域の担当職員として配置し、地域と行政のパイプ役として行政情報の周知、地域の要望等の連絡、地域づくりのお手伝いを行っております。その他にもリーダー養成研修や職員出前講座を行っており、職員出前講座は57の講座メニューから市民の皆さん（5人以上の団体）が聞きたい講座を選択して、市職員が講師として出向いてお話しをするものでございます。平成20年度は1,407人が受講しております。

- 次に財政的な支援ですが、「町内会等活動支援交付金」として
- ①環境整備等交付金
 - ②町内会等設立交付金
 - ③コミュニティ活動交付金



職員による出前講座

④コミュニティ施設運営交付金を設けました。そのほかにも平成20年度から「まちづくり事業補助金」を設け、町内会等が行う福祉、芸術、まちづくり等の目的に該当する事業に補助を行っており、昨年度は7団体に補助金を交付しております。

また、地域コミュニティセンター整備事業費補助金として、地域が設置する地域公民館の新築、増改築修繕に要する経費に対して補助金を交付しております。市は直接負担しておりませんが、宝くじ関連のコミュニティ助成事業を行っております。

行財政改革の実施状況と成果について

二戸市の行財政改革推進の基本方針は、

- ①自己決定、自己責任の体制づくり
- ②柔軟で迅速な体制づくり
- ③公平で公正な体制づくり
- ④情報公開・市民参加の推進
- ⑤簡素で効率的な行政運営の推進
- ⑥改革の風土づくり

の6つを掲げているが、項目ごとの実施状況と成果について、具体的に伺いたい。

市長

①合併当初は1室6部制でしたが、新市の総合計画を推進するために5部制にしました。特に市民協働部を設置して市民協働に取り組んだこと、また、部制が着実に機能し始め部内の課題等をきちんと部の中で取り組み解決を図ることで体制が進んだと考えております。

②組織機構の見直しとして、漆振興室を副市長直属の組織として設置し、元気

再生事業への取り組み、漆の原木調査・ブランド認証等を行いました。また、19年度には企業雇用推進室を設置し、3年間で4社の誘致に至りました。

③主なものとして、市民の声を聞くために各種計画等の策定の際に民間の方々の参画公募、情報格差解消のためのテレビの難視聴対策、浄法寺地域でのコミュニティバス運行等を行いました。

④行政情報の周知では、例えば県境産廃問題は、住民の現地見学や環境シンポジウムの開催を行い、住民と一体となった取り組みを進めてきております。また、「広報にのへ」は月2回発行することで情報伝達の実を高めております。カシオペアFMは、土日を除き1日3回行政情報を放送するとともに議会中継（一般質問）を放送しております。

⑤業務の民間委託や職員の再任用、準職員の採用により市職員を削減し経常経費の削減を行って、市民サービスの



及川 正信 議員

今後の二戸市について

今回は、「今後の二戸市について」の一点に絞って質問します。

これが小原市長との最後の議論になりそうですが、約18年にわたり、市長の政治姿勢から始まり、二戸市のまちづくりや市長の生活と福祉の向上を願う立場で質問してまいりました。市長もまた幾つかの対立点はありませんでしたが、基本的には共通認識の上に立って誠心誠意答弁され、議論されたものと素直に受け止めております。

り組んでおります。

⑥風土づくりは、直接の事業に結びつくものではありませんが、行財政改革にあたっては新たな課題を加えながら継続していくことが重要であり、さらに改善を重ねて効率的な行政サービスを挙げてまいりたいと思っております。

質問の第一点は、二戸市を今後10年展望した場合、市民のため地域のため政策的に何を優先的に取り組むべきと考えるか伺う。特に市民所得が低迷している今日、政策的なものが必要である。市民所得の向上を図るには何が必要か、何をなすべきか考えを伺う。

質問の第二点は、駅周辺土地区画整理事業と財政の問題である。今私達は、いつ終わるともわからないこの事業をおそらく今後200億円の財源と最低50年の年数を必要としながら、あてもなくほとんど不可能な計画にのせて進んでいる。私は、埼玉県飯能市に視察に行き、事業の縮減見直しができる現実を見てきている。二戸市も財政力や事業の遅れの現状をしっかりと見て、見直しを検討すべきである。市長の見解を伺う。

質問の第三点は、市町村合併と旧浄法寺町との合併約束事項についてである。市長は、今後一戸や九戸、軽米と合併を進めるべきと

考えるかどうか。そして、浄法寺との約束事項が進んでいないのだが、あれだけ合併を二戸の側から働きかけ、将来の展望をお互い協議し決定した合併協議事項である。合併から4年を迎えた今こそ二戸市長が、とりわけ浄法寺の皆さんに遅れている理由など説明する責任があると思う。市長の見解を伺う。

市長

①私は、やはり安定した市民の暮らしが最優先されるべきだと思います。そのためにも、働く場所、安定した収入が大事であり、企業誘致が欠かせないと思っております。近年、誘致企業も来ておりますが、若い人向きの企業も大事ですし、地場産業と密接にかかわりのある加工・流通も含めて強い企業を誘致し、地元からも創業していくことなどを支援するようにしたいと思っております。所得の向上については、企業側も働く側ともに力をつけて、全体の収入を増やす中で行われることだと思います。



(株) A I G I E M との企業立地協定調印式 (2月1日、浄法寺明神沢)

②区画整理については、飯能市の例を二戸市に当てはめることは難しいと思えます。ご指摘を頂くたびに例えば区画を縮小することはできないか等検討しておりますが、かえって結果も良くありませんし、お金もかかってかかるといふ結論に達してしまっています。今は時間を延ばすことで整備したいと思っております。

③合併については、二戸広域を見ますと首長、議会、住民も合併を望んでいないように見受けられますので、これから短期的に合併が進むとは思いません。また、旧浄法寺町との約束事項については、件数



小原 美千雄 議員

小原市政の総括と今後の行政課題

①市長として5期の年月を数えますが、どのような感慨を持っているのか。また、今までの経過で自分の思惑どおりに進められた事業、そうでなかった事業などを紹介頂きたい。

②市民所得の向上については、行政課題として大きい位置づけにあるが、小原市政では大きい進展はなかったと思う。市長の見解を示

すから、いまそれを変えることについては考えておりません。

国保税の引き下げについては、20年度でも1億円以上の赤字が出ており、今年度はさらにそれを上回る赤字が予想されます。したがって、現時点では国保税を引き下げることが難しいと考えます。

②市内の中小企業の経営安定や資金の円滑化を図るために、市の融資制度とその利子補給制度により対応するとともにセーフティネット保証の認定の際は迅速に事務を進めるよう努めております。また、市内企業・業者を守るために契約についても21年1月に最低制限価格を引き上げております。

リフォーム助成については、新しい後期計画なりで一つの検討材料になるかと思えます。

新規学卒者の就職支援は、振興局やジョブカフェとの共同での学校訪問による状況把握、企業等に対する採用要請、事業所見学会

の実施などを行っております。

教育・子ども対策について

子どもの権利条約採択20年だが、子どもの権利がないがしろにされている。石小マーチングバンド全国大会金賞等、子ども達の活躍は地域に元気をもたらした。日々の活動に多くの負担と困難があり、行政の努力が求められている。

①学校備品購入等の予算の拡大、大会出場補助金の全額への改善、教育・文化・スポーツ環境の充実を行うべきではないか。

②過度な競争に拍車をかける全国学力テストは、不参加を表明するべきではないか。

③いじめ、不登校など子どもへの悩みに対応する体制強化を図るべきではないか。

教育長

①学校の備品購入予算については、財政の厳しい折です。十分確保しているとは言い難いわけですが、学校の要求に対しての予算配分は、それほど支障をき

たすほどではないと思えます。

大会出場補助金については、小中学校のスポーツ・文化の大会を対象として大会に出る経費の2分の1の額を補助しているわけですが、他市の場合ですとほとんどが小中体連の大会のみというところが結構多いのです。そのため、当市の補助制度が決して悪いわけではないと思えます。

教育環境の充実については、施設関係のことだと思えますが、石小マーチングバンドの練習会場の確保については、ご苦労されていることは承知しております。練習会場はスポーツセンターぐらいしかないのですが、今回は大会に向けて優先的に利用できるように対応したということも聞いております。また、近隣市町村の学校との合同練習や講習会もあり、持ち回りで会場を利用していることもあるようです。

今後、行政としても限られた予算の中での支援方法を探ってまいりたいと思

ます。

②学力テストは、政権交代により、予算の縮小ということが出されており、その内容等は現在のところ不明であります。ただ、過去3年間実施して、二戸市の学力の状況・課題に対して対策を立ててきており、それがどの程度成果を上げているのか、そういうテストを受けて調査してみたいと感じております。

今後、国や県の動向を見据えながら参加についても結論を出していきたいと思

③不登校への対策としては、初期の対応を重視していきたいということで、1



石切所小学校マーチングバンド



日休んだら電話連絡するか、2日休んだら必ず家庭訪問していくという個々に応じたきめ細やかな対応を重視しております。また、不登校が続くようであれば、個別の指導計画を作成して段階的に取り組んでおります。

また、家庭における生活習慣の確立についても親御さんからご指導頂いて立ち直るきっかけとなればと考えておりますし、教育委員会としても、スクールカウンセラーについては、県へ要望して増員を図ってまいりたいと思

してほしい。

③新幹線対応や都市計画では、かなりの成果を得たと思うが、土地区画整理事業では将来に重い十字架を背負わせている。この現実をどう説明すれば市民理解が得られるのか答弁頂きたい。

④世界的な不況、円高の進行、デフレの中、こんな時こそ農業は国の基本なりの精神に立ち返るべきである。市長の見解を伺う。また、農業振興において、土地の基盤整備が進んでいないのが現状であるが説明頂きたい。

⑤政権党が変わり、事業仕分けを行っているが、二戸市では、どのような事業が現政権の事業仕分けに影響されるのか説明頂きたい。

市長

①私にとつてすばらしい17年半だったと思います。世紀をまたぐ時期に仕事をさせて頂いたことを名誉に思い深く感謝申し上げます。事業としては、市の基盤整備が進んだこと、一定程度の市の骨組み、機能が整

備されたことが挙げられると思います。残念だったことは、金田一温泉の活性化ができなかったこと、人口減少を止められなかったことです。

②市民所得については、平成4年に一人当たり214万5千円、17年で199万円、今は196万円7千円でかなり下がっており、本当に残念です。ただ、今優先されることは、所得の向上よりもまずは安定した暮らしを維持していくことだと思います。そのために、企業誘致や農業振興などにより働く場所を確保していくこと、そして働く方も能力を高めていく努力が大事だと思います。

③荷渡地区の区画整理は成功したと思っておりますが、駅周辺の区画整理については難題でした。財政面では、優れた財源を生かして整備を進めていくことが一つだと思えますし、また、今後参考になる手法が見つかれば検討の必要があると思

④農業の整備については、



畑地かんがい施設実演会 (舌崎地区)

かんがい排水事業とか畑地帯総合整備事業とかそれなりの効果はあると思えます。個人的にも頑張っている農家の皆さんがたくさんおいですが、できれば集落営農とか仲間を支えあい勉強しあう中で規模を拡大し所得を増やして頂きたいと思えます。そのため体制づくりを市は行っていないかなければならないと思

⑤今回の事業仕分けで、平成22年度予算において何らかの影響を及ぼすと想定される項目は24項目、今後において何らかの影響が出る項目が想定される項目は15

項目となっており。また、削減の詳細内容が把握できないため正確な影響額の算出は困難であります。

市民のいのちと暮らし、雇用を守る対策について

新規高卒者の就職内定状況は昨年同期を下回る。10月の常用求職者の内、解雇による離職102人、有効求職者1,477人中、就職は207人、雇用保険受給は435人、つまり残り835人の多くが失業手当も無く引き続き職を探す異常な状況である。政治の責任で早急に解決されなければならぬが、小原市政の対応は不十分である。

①国が求める慎重な国保の資格証明書交付、医療費一部負担減免、収入減などの場合の保育料変更に対応せず、市の不作為により救済されるべき市民が救済されていない。負担感の大きい



議員 中 泰子

①国保の資格証明書については、審査会で担税能力がありながら督促に感じないと認められる滞納者を対象に交付しているものです。この方々には、積極的に納税相談を利用して頂きたいと思

医療費の一部負担金の減免は、ある程度理由を限定しないと医療はパンクしてしまうと思

市民の皆さんも収入が減ってご苦労されていると思

保育料については、年度初めに親御さんから色々とお話を聞いて所得階層区分に当てはめているわけ

人事案件

農業委員3名を推薦

第4回定例会において、任期満了に伴う農業委員の改選に伴い、次の方々が議会から推薦されました。

- 米沢字家ノ上 泉 館 羊 子 氏
- 浄法寺町合名沢 小田島 功 氏
- 石切所字村松 安 藤 直 美 氏

請願と陳情

あなたの声を市政に！

本定例会で審査された陳情は1件で「採択」となりました。

官公需印刷物の入札制度改善を求める陳情書

【陳情者】
 二戸市福岡字下川又一
 福岡プリント社
 田 中 勝 則

議員発議

(議員提案によるもの)

本定例会では、次の決議1件が可決されました。

決議

議員定数検討特別委員会設置に関する決議

最終日に、議員定数について検討するため、「議員定数検討特別委員会」が賛成多数で設置されました。

これは、議員定数問題調査特別委員会の報告を基に新たに設置されたものです。

正副委員長及び委員は次のとおりとなりました。

- | | |
|------|---------|
| 委員長 | 及川 正信議員 |
| 副委員長 | 新畑 鉄男議員 |
| 委員 | 田村 隆博議員 |
| 委員 | 小笠原清晃議員 |
| 委員 | 米田 誠 議員 |
| 委員 | 菅原 恒雄議員 |
| 委員 | 國分 敏彦議員 |
| 委員 | 畠中 泰子議員 |
| 委員 | 西野 省史議員 |
| 委員 | 山本 敏男議員 |

意見書

次の意見書2件が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

- ①後期高齢者医療制度の速やかな廃止を求める意見書
- ②最低賃金の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める意見書

請願・陳情を にするには

市政に要望がある時は、市議会に請願書や陳情書を提出することができます。

【請願と陳情のちがいは】

○請願は、紹介議員の署名または記名押印が必要です。

○陳情は、紹介議員を必要としません。

【請願・陳情の取扱い】

○請願及び市内の方が提出した陳情は、市議会で審査され、採択か不採択を決定し、採択の場合は関係機関へ送付されます。

○市外の方からの陳情は、市議会において、議員に配

付いたします。

【記載して頂く事項】

- ①提出年月日
- ②提出者の住所・氏名
- ③請願・陳情の要旨、理由
- ④請願の場合は、紹介議員1名以上の署名または記名・押印

《請願書記入例》

表紙	請願書
紹介議員	〇〇 〇〇
	〇〇 〇〇

本紙

年 月 日

二戸市議会議長 様

請願者 住所 _____

氏名 _____ ㊟

〇〇〇〇についての請願

(要旨)

(理由)

議会随想

もう師走、早いものである。1年365日あつという間に過ぎ去る。今議会は小原市長最後の議会とあつて、議論の府とするにはいささかもの足りなさを感じたが、18年間の市長職を思えば、これからの議論よりも今までの労苦にいたわりの思いが行き交う議会でもあつた。

二戸市議会は、岩手県の市議会の中で厳しさではトップクラスと評されるが、どっこい、人情味も持ち合わせている議会でもあるということを見た気がした。

議会だより編集委員長

